

名古屋市子ども・若者支援地域協議会の取り組みについて (令和6年度計画)

1. パートナー機関との連携・情報共有のしくみづくりと情報発信

- 1) ひきつづき、パートナー機関の周知・登録促進を行う。
- 2) パートナー機関を対象とした学習会（交流会）の開催、を通して、意見交換、交流を促進する。

2. 成果指標の精査と活用

成果指標に基づき、相談者の変化についての評価を実施する。

3. 支援者スキルアップ研修の開催

専門テーマに関する学習会を実施する。専門テーマにおける第一人者を講師として招き、勉強会及びケース検討会を実施する。

4. 支援機関訪問（見学）の開催

支援機関の現場を訪問し、現場の雰囲気を感じたり声を聴いたりすることで、より理解を深め、日常的な支援に活かすためのネットワークづくりを行う。

5. パートナー機関意見交換会の開催

パートナー機関の交流及び連携・協働のための意見交換を目的とした意見交換会を実施する。

6. 実務者会議の開催

名古屋市内の子ども・若者を支援する機関との連携のための実務的な協議の場として、実務者会議を開催する。

開催頻度：月1回程度

参加者：少年サポートセンター、なごや若者サポートステーション、
家庭訪問型相談支援事業、若者・企業リンクサポート事業、
北部及び南部ステップアップルーム、青少年交流プラザ、
子ども・若者総合相談センター、名古屋市

7. 中学3年生の保護者向けリーフレットの作成（15歳の「今」と「これから」を応援するハンドブック）

平成29年度より市内中学校を通じて各世帯に配布している中学3年生の保護者向けリーフレット（15歳の「今」と「これから」を応援するハンドブック）の内容の見直しを行う。